

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1	1	基準を満たしているが、個別で対応したい時にやや不便を感じる。2 部屋のための、場所を分けて活動する事が難しい現状もある。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	1	1	配置基準より多く配置しているが、活動により足りていないと感じる時がある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			児童館内ということもあり、スロープや手すり・点字ブロックの設置、段差等もない。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	0	3	1	パート職員の意見の聞き取りや反映が不十分。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3		1	保護者評価は平成 30 年度に行う予定だが、面談時や独自のアンケートにより、活動内容等についての意向等を確認し、可能なところは反映している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		1	3 月に掲載予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	1	第三者による外部評価はできていないが、事業所間での情報共有等を通し、業務改善に繋げている。今後の検討事項。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			内部研修を実施。他にも外部の研修へ参加している。
適切な 支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			事前のアセスメントをもとに課題を出して保護者同意のもと、計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			放課後ケアネットワーク仙台で作成したアセスメントシートを活用。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			行事や設定活動を職員間で月ごとに相談し、活動を設定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	2		意識はしているが、似通ってしまう事がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2		基本的には個人によって課題を決めて支援をしているが、活動時間の長さで取り組めることが増える事もある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		そのお子さんによって集団活動と個別活動のバランスを考慮している。集団活動の機会の提供は適宜行っている。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			送迎時間や勤務時間によって難しい場合は、連絡ノートを活用している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		3	1	打合せという形ではないが、連絡事項や気になる事項は適宜伝え合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			計画に沿ったケース記録をとっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1		6ヶ月に一度のモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。その他必要に応じて6か月以内であっても適宜見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	2		自立支援・創作活動・地域交流・余暇活動等の支援を集団・個別で行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1		児童発達支援管理責任者、もしくはケース担当者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			基本的には保護者を通して共有している。協力や情報共有の意識や方法は学校や教員によって異なることもある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	2	現在医療的ケア対象児童の受け入れはないが、発作や持病等かかりつけの病院や医師の名前を確認はしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3		主に書類等を通して情報共有をすることが多いが、児童発達支援のお子さんについては、保育所等で話を聞いたりしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	1	3	0	小学部対象のため、福祉サービス事業所への移行はない。別の事業所へ移行する場合等に情報提供をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	1	必要に応じて外部研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4			児童館内に設置されており、合同行事の実施等、交流をしている。平日の放課後については、人数の多さから難しい現状もある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			4	参加できていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			モニタリングや送迎の際に活動時の様子を含め保護者にお伝えし、併せてご家庭の様子聞き取りも行っている。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		1	3	29年度より保護者研修会として茶話会を実施しているが、ペアレントトレーニングまでには至っていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時や毎年行う面談時に丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3		1	気持ちの聞き取りや必要な助言、関連機関の紹介等を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	1	茶話会を実施しているが、連携までには至っていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情受付制度を設置し、周知している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			活動内容や行事予定は毎月お知らせしており、おり～ぶ4か所の通信は半期に一度発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			施錠できる場所で管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1	3		わかりやすい伝え方等を考慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	1	児童館に来ているお子さんとの行事の立案や、児童館と合同で七夕飾りを地域のスーパーに展示している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	1	1	各種マニュアルを作成し、事業所にファイリングしている。保護者へ周知しきれていない部分もある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1		児童館と合同で定期的に避難訓練をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待防止法に関する研修を毎年行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			面談時に保護者に了解を得て、計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	1	2	アセスメントで保護者からアレルギーに関して伺っているが、医師の指示書は求めている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		2	2	事故報告書を作成し共有する事で事故防止対策を図っているが、ヒヤリハットについては口頭と連絡ノートが主となり、報告書としては作成しきれていない。	

